

左京区防災・減災通信

左京区役所では、地域の皆様が防災・減災へ、もっと関心をもっていただくために、「左京区防災・減災通信」を発行しております。

ふれあいまつりは、今年度の左京区総合防災訓練に位置付けており、防災・減災を楽しみながら学べる企画を用意しております。

防災豆知識では、能登半島地震での被害家屋の傾向及び耐震対策について紹介します。ぜひ、ご一読ください。

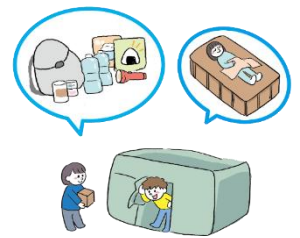


VR消火体験

VRを用いたリアルな災害現場で消火器の使用方法を学ぼう！



左京区民



避難所運営体験

避難所にある段ボールベッドやテントを作ってみよう！

ふれあいまつり 2025

今年のテーマは「防災・減災」

11月30日(日)10:00～15:00

in 左京区役所

お子さまから大人までみなさまと一緒に
なって、防災・減災について体験を交えながら
知識を身に付け、いざという時に備えよう！

ぜひ、お気軽にご参加ください！



防災リュックまちがい探し

テーブルの上に置かれた
たくさんの防災グッズの中から
お題に沿って、
正しい防災リュックを作ろう！



スタンプラリー

区役所内の防災ブース
を回って防災バッジを
ゲットしよう！



親子で参加！

ポリ袋クッキング※

湯せん調理を体験しよう！
災害時はもちろん、キャンプなど
でも便利！

ミニ講話「災害時の食の備え」も
聴いて災害時の備えはバッチリ！

※ポリ袋クッキングは
事前に予約が必要です。



各回先着 10 組
申込フォーム
11月14日(金)まで

コラム・防災豆知識



～能登半島地震の情報から考える耐震化の重要性～

能登半島地震では、被災地全体で約16万5千棟の住家被害が発生しました。

京都市では、無料耐震診断、耐震・防火改修支援事業を実施しております。

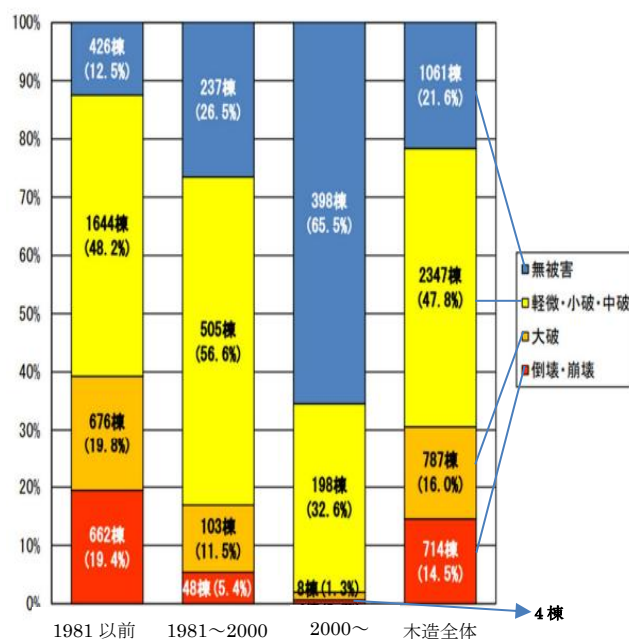
安心・安全な住まいづくりに、ぜひご活用ください。

ステップ1: 能登半島地震の倒壊率を知ろう！

令和6年1月に発生した能登半島地震では、建築年数が古い木造住宅では倒壊率が高く、被害の大きさを左右する要因となりました。右のグラフは、建築時期ごとの木造住宅の倒壊率を示したものです。

グラフからもわかるように、1981年の新耐震基準以前に建てられた住宅では倒壊率が非常に高く、耐震化の必要性が強く示されています。

木造住宅の建築時期別被害状況



出典) 令和6年能登半島地震対策検証報告書
(令和7年8月1日公表) | 石川県

ステップ2: まずは無料の耐震診断！

京都市では、市内の木造住宅を対象に、京都市が登録する耐震診断士を派遣し、地震に対する安全性を評価するための無料耐震診断を実施しております。診断後は作成した図面と診断結果に基づき、耐震改修に向けたアドバイスをします。

ステップ3: 耐震・防火改修支援事業

「まちの匠・ぷらす」の申請について！

耐震・防火改修の補助金「まちの匠・ぷらす」は申請が必要です。壁の設置や屋根の軽量化等様々な改修に対応しております。

(参考): これまでの実績について(令和6年度末)

無料耐震診断	6,788戸
耐震・防火改修支援事業「まちの匠・ぷらす」	7,143戸

【無料耐震診断】 【耐震・防火改修支援事業】 の概要

<対象の建物>

京都市内にある木造の一戸建て住宅、長屋または共同住宅

木造住宅 昭和56年5月31日以前に着工

京町家 昭和25年11月22日以前に着工

<申込期間>

無料耐震診断 令和7年12月26日まで

耐震・防火改修 令和8年1月31日まで

<問合せ先>

京(みやこ)安心すまいセンター

電話: 075-744-1631



無料耐震診断



耐震・防火改修
支援事業
「まちの匠・ぷらす」

いかがでしたか？

防災に関する取組、日頃の備えなど紹介したいことや知っておきたいこと等がございましたら、左京区役所地域力推進室総務・防災・地域連携促進担当までご連絡ください。

電話: 075-702-1021

FAX: 075-702-1301

メール: sakyo-chiikiryouku@city.kyoto.lg.jp